

令和元年度（茅ヶ崎北陵高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行防止、職員行動指針の周知徹底）	個人としての生活時間帯における不祥事や県民の不信を招く行為等の原因について教職員一人ひとりが自覚するとともに認識を深め、教育公務員として「法令遵守」意識を高めることにより非行を未然に防止する。	不祥事防止研修会等で職員啓発資料等を活用し、教育公務員としての自覚を喚起することができ、不祥事はなかった。
セクハラ、わいせつ行為の防止	セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。	校長面談時に「セクハラ、わいせつ行為の防止」についてのリーフレットを配付し、一人ひとりの職員が主体的に考えるように指導した。
体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切な指導の発生を未然に防止する。	令和元年8月に「生徒の人権に配慮した指導」をテーマに外部人材を活用して一人ひとりの生徒へ向き合うよう、職員が主体的に考える形態の参加型研修会を研究開発グループにより実施し、生徒の人権に配慮した指導について、理解を深めた。
<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜における事故防止 ・成績処理に係る事故防止 ・進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県高等学校入学者選抜（以下「入学者選抜」という。）の確実性及び信頼性を高めるため、入学者選抜における採点及び点検業務について検討を行うとともに、現行の採点及び点検業務について検証し、確実に入学者選抜を実施するための方策を定める。 ・成績処理にあたっては成績処理マニュアルに基づき、教務手帳への転記、成績処理支援システムへの入力・確認を複数によるチェック体制を確立し、ミスを未然に防止する。 ・調査書の作成にあたっては、本校のマニュアルに基づき、複数によるチェック体制を確立し、作成ミス等を未然に防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜において採点の誤りの防止を徹底し、適切かつ確実な入学者選抜を実施した。 ・成績処理にあたっては、教科と教務グループが連携し、成績処理マニュアルに基づき、十分な打ち合わせ・確認を行い、複数によるチェック体制を確立し、一斉点検の時間を設けるなど確実な点検を行った。 ・令和元年10月に「調査書発行に係る事故防止」について研修会を実施し、一人ひとりの職員が主体的に考えることができた。 <p>調査書の作成にあたっては、教務グループと進路支援グループ及び3学年が連携し、十分な打合せ・確認を行い、複数による確実な点検を行った。</p>

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の漏えい及び紛失を未然に防止する。	生徒の個人情報は原則として校外に持ち出さない。やむを得ず持ち出す際は、個人情報持ち出し許可願いを提出し、許可を得ることを徹底した。 生徒・保護者等の携帯電話番号・メールアドレスを収集するときは、必ず文書による承諾を得る。また、収集した情報を記録し持ち出すときは、個人情報持ち出し許可願いを必ず提出し許可を得ることを徹底した。
交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止	交通事故の発生を未然に防止する。 酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	車の運転時は平常心を保ち、余裕をもって運転する。また、安全確認を怠ることがないように注意喚起した。 飲酒を伴う会合に出席する場合は、絶対に自家用車で会場に行かない。また、自転車の運転も行わないことを周知徹底した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務遂行体制の充実を図る。	職員が一人で業務上の困難やストレスを抱え込むことがないように、支えあって協働する同僚性を醸成し、気にかかる職員には、積極的に声掛けをし、風通しの良い職場作りを心掛けた。
適正な経理処理（私費会計処理）	私費会計に関する不祥事の発生を未然に防止する。	令和元年11月に「適正な経理処理」についての研修会を実施し、適正な私費会計処理を行った。
定期テストについての事故防止について	定期テスト問題作成、点検、実施及び回収、実施後の受け渡し等チェック体制を確立し、出題ミス等を未然に防止する	定期テスト問題作成上での問題のチェック、点検後の保管について所定の手続きをとり確実な点検を行った。 定期テストの実施についての監督及び実施後の担当への解答用紙の受け渡しは、所定の手続きに従い、確実に実施した。 定期テスト採点及び採点後の返却及び採点確認について所定の手続きをとり、確実に実施した。
保護者対応に係る事故防止	社会環境の変化、家庭環境の複雑化等、学校を取り巻く環境が変動している中で保護者とのトラブルを未然に防止する。	学校の指導に対する保護者の意見・要望に対する対応方法、保護者と連携した生徒の課題・問題への取組み方、家庭の問題への学校のかかわり方等については、職員間の情報交換等を的確に行い迅速・適切な対応を心掛け、信頼関係や協力関係を促進した。

○ 令和元年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和2年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

- ・行動計画については、目標を達成することができた。
- ・令和2年度は、公務外非行防止、セクハラ・わいせつの防止、不適切な指導の防止、成績処理・進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止、入学者選抜に係る事故防止
個人情報の管理、情報セキュリティ対策、交通事故防止に引き続き取り組む。